## 平成20年度 科学研究費補助金 (特別推進研究) 事後評価結果

研究課題名			平野 俊夫 (大阪
	サイトカインによる免疫応答制御	研究代表者名	大学・大学院生
	機構と自己免疫疾患の発症機構	(所属・職)	命機能研究科•
			教授)

## 研究課題の総合的な評価

該旨	当欄	評価基準	
	A+	期待以上の研究の進展があった	
0	A	期待どおり研究が進展した	
	В	期待したほどではなかったが一応の進展があった	
	С	十分な進展があったとは言い難い	

## 評価意見

自己免疫疾患に関する IL-6 のシグナル伝達の研究から、亜鉛をシグナル伝達分子として捉えようとする研究に発展した。確実に論文も発表されており、期待通りの進展があった。挑戦的なテーマに対する意気込み、姿勢は高く評価する。免疫学のみならず、生物学全般に影響を及ぼす可能性のある研究であり、亜鉛がシグナル伝達分子として確立されるよう、更なる解析を進めることを期待する。